

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大船渡市ひまわり教室			
○保護者評価実施期間	令和7年1月9日		～	令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年1月9日		～	令和7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種による多角的な視点での支援を実施していること	ひまわり教室専属スタッフ（児発管、児童指導員、保育士）に加え、心理療法士や作業療法士、言語聴覚士など各分野の専門家の派遣を受けながら、多角的な視点で支援にあたっている。	職員や支援者間でこどもの状況把握と支援方針に関する情報共有を密に行い、こども一人一人の状態に合った適切な支援を継続的に実施していきたい。
2	関係機関との緊密な連携体制を構築していること	支援の一貫性とより丁寧な支援を行うため、併行利用している保育所等と連携し支援内容の共有等を行うとともに、入学時などライフステージの移行を見据え、教育支援説明会の開催や就学先の見学調整、引き継ぎの実施など、教育委員会や小学校等との連携体制の構築を図っている。	引き続き、関係機関との連携体制を構築し、こどもの状態や支援方針・支援内容の共有を図りながら、一貫性のある丁寧な支援を行っていきたい。
3	保護者との共通理解の形成等を行っていること	ひまわり教室での活動はこどもだけではなく、保護者の方にも一緒に参加していただいており、活動の中で随時保護者に情報を共有するとともに、関わり方についてのアドバイスなどを実施している。こうした取組もあり、保護者評価における「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。」という設問では回答いただいた全員から、「はい」との回答をいただいた。	こどもの状況を踏まえるとともに、保護者の気持ちに寄り添いながら、こども・保護者との信頼関係を構築し、伴走した支援に取り組んでいきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子参加での活動ということもあり、活動スペースが手狭であること	他機関の施設の一部を借りて運営しており、活動スペースが限定されている。	現在、活動内容の工夫や曜日ごとに参加する人数の調整などを行いながら対応しており、今後も引き続き対応していきたい。
2	地域との交流が少ないこと	在籍する全てのこどもが、それぞれ地域の園に在籍していることや、感染症対策等の観点から、園との交流会等の実施やひまわりの行事への地域住民を招待は行っていない。	例年実施している動物とのふれあい体験のほか、今年度は電車を利用した遠足の実施を行うなど、施設外での活動を増やしている。 園との交流会等の実施や行事への地域住民の招待は、その必要性を十分踏まえつつ、検討していきたい。
3	ひまわり教室利用者全体での訓練ができていないこと	借用施設全体での訓練にスタッフが参加しているものの、活動日程の関係上、利用者全員の参加が難しいことから、ひまわり教室利用者全体での訓練は実施できていない。	参加するこどもが曜日ごとに異なることや、活動が親子参加であり、その活動のために保護者は仕事を休んで参加いただいていることを踏まえ、2時間の活動時間を大切に活用したいことから、訓練の在り方を検討していきたい。